

あくせず news

第283号
2026年1月14日
発行者
吳市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせず



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

本年も引き続きご利用・ご紹介の程よろしくお願ひいたします。

新年のご挨拶

みなさま、あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに令和8年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より医師会活動への御理解と御協力を賜り、心よりお礼申しあげます。

昨年は夏の猛暑と少雨、熊被害、カキの大量死など自然が猛威をふるい、国際社会も不安定な一年でした。医療・介護の世界も急激な物価高騰・人件費上昇の中、人口減もあり患者数・利用者数は伸び悩み、吳市医師会も困難な運営を強いられました。

今年は診療報酬・介護報酬（臨時）改定の年であり、60年ぶりの丙午（ひのえうま）の年です。大胆な変化や方向転換が起きる年だといわれており、「勢い」がキーワードとなりそうです。補助金や報酬改定をきっかけに地域医療の「勢い」が取り戻せるよう、吳市医師会は今年も高い熱量をもつて活動します。

我々執行部はこれからも吳市医師会病院の運営に真摯に取り組んでまいりますので、会員の皆様にはより一層の御協力の御支援をお願いいたします。

吳市医師会 会長

石井 哲朗

すべての職員が笑顔で働く持続可能な吳市医師会病院を目指していくために、今後ともご指導、ご鞭撻、および御紹介のほど何卒よろしくお願ひいたします。

吳市医師会病院
院長／病院担当理事

先本 秀人



新年明けましておめでとうございます。旧年中は医師会病院をご利用頂きまして誠に有り難うございました。

昨年5月には病床数を198床から、現在の職員数で現実的に対応可能な150床にまで減床しました。ただ、今年度は入院患者数自体も減少しており、昨今の諸費用高騰や賃金上昇も相まって多くの病院と同様に厳しい収支状況となつております。病院運営検討会議にて病院と執行部が一体となつて経営改善に向けて努力していく所存です。

大腸肛門病センターは12年目となり、基幹病院を含めて県内全域から肛門疾患・排便機能障害・直腸脱などの外科患者を御紹介頂いております。また、もう一つの柱である回復期医療に関しましても、地域包括ケア病棟での内科患者受け入れ体制をさらに充実させていきたいと考えます。

4月からは産休医師を除くと消化器内科常勤医が一時的に4名から3名に減員となります。が、長年不在であつた呼吸器内科常勤医1名が派遣されることとなりました。肺炎・COPDなどの呼吸器疾患や睡眠時無呼吸症候群などの患者さんを是非、御紹介いただければと思います。

吳市医師会 副会長／病院担当理事
吉川 幸伸

吉川 幸伸

明けましておめでとうございます。

会員の先生方には日頃から吳市医師会病院をご利用いただきありがとうございます。本年も一層のご利用をお願い申します。

全国の多くの病院が赤字のなか、吳市医師会病院も苦しい状況となつております。病院については、診療報酬改定や補助金などで幾分の援助が期待できる状況ですが、これだけで全てが解決するわけではありません。入院患者数を増やせば収入が増えて問題解決と言つわけにはいかなくなつていて、中長期的な計画を考えていかなければなりません。

大腸肛門病センターは、設立10年を過ぎ、吳市医師会病院の中核となりましたが、このセンターだけでは経営を立て直すことは困難です。大いなる取捨選択をして、より存在意義の高い病院にする必要があると考えています。吳市医師会病院が吳市にとつて必要欠くべからず存在となるべく、会員の先生方の忌憚なきご意見、惜しみなきご協力をお願ひいたします。

吳市医師会 副会長／病院担当理事
吉川 幸伸

吉川 幸伸

吉川 幸伸

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

令和7年度は物価高騰ならびに診療報酬減少の影響を大きく受け、赤字決算に転落する見込みであることは皆様ご存じの通りです。受け入れ患者数の減少に対しては、2024年12月に更新した電子カルテシステムをフルに活用し、より多くの患者紹介をいただける診療体制を目指します。

呉市医師会病院の設立目的は、診療支援を通して呉市民への医療貢献を果たすというものです。この目的に沿うべく邁進いたしますので、これまで以上のご支援をお願いいたします。

副院長 片山 紀彦



新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、昨年中は色々とお世話になり、誠にありがとうございました。本年もより一層の支援を賜りますようお願い申し上げます。自分は、今回当院で新年を迎えるのは18回目となり、また副院長になってからは2回目となります。昨今の医療情勢は厳しく、今まで働いてきた中で当院も一番厳しい状態にあります。これから先の病院のあり方を見直す一年になると思っています。これから先の病院として患者さんファーストなのは当然ですが、それだけでなく働いている職員たち皆が明るく働ける場所であることが大事であり、それを目指していくべきと思っています。その為には会員の先生方のご協力やご理解を頂く必要があります。

自分は肛門疾患や機能性疾患などしかできず、微力ではありますが可能な限り先生方に協力していきたいと思っていますので、会員の先生方にはこれからもより一層、医師会病院を、大腸肛門病センターを利用して頂けたらと思います。本年もどうぞよろしくお願ひします。

副院長/大腸肛門病センター長
藤森 正彦



新年、明けましておめでとうございます。

昨年も会員・登録医の先生方には大切な患者さんをご紹介いただき、ありがとうございました。看護部104名、つがなく新年を迎えることができました。

私事ですが、昨年は家族の入院で慌ただしい日々を過ごしました。臥床期間が長くなるほどADLが低下していく様を家族として目の当たりにし、「人への思いやり」と「リハビリの重要性」を痛感しました。

入院される患者さん自身はもちろんですが、そのご家族も不安な気持ちを抱えています。その気持ちにできるだけ寄り添い、「医師会病院に入院して良かった。ここまで元気にしてもらえた。」と思っていただけるよう、目配り・気配り・心配りのできる看護の提供に努めてまいります。

引き続きご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

看護部長 風呂本 理恵



関係医師懇談会 ご案内

演題：「開業医のためのCKD対策」～腎臓専門医からの実践的アプローチ～

日時・場所：1月27日（火）19:00～呉市医師会館5階 講堂

講師：川合 徹 先生（医療法人 中央内科クリニック院長/呉市医師会理事）

※軽食（カレー）をご用意しております。



★12月1日～12月31日★

※届出数（一般病床）

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数*	紹介外来患者数	医療相談患者数
94.6人	63.1%	18.6日	86人	148件



呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 先本 室長 中間 MSW 森下 MSW 菅原 MSW 卷幡
FAX (0823) 32-7507 事務 向井 事務 井上 事務 岩畔 事務 村田